平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場会社名　株式会社CKサンエツ　　上場取引所　　名
コード番号　5757　　URL http://www.cksanetu.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）釣谷　宏行
問合せ先責任者（役職名）取締役管理統括部長　（氏名）松井　大輔　TEL 0766-28-0025
四半期報告書提出予定日　平成28年11月14日　配当支払開始予定日　平成28年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（アナリスト・新聞記者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	31,658	△10.8	1,300	33.3	1,578	△7.1	995	△13.6
28年3月期第2四半期	35,503	14.0	975	△26.5	1,699	25.7	1,152	24.5

（注）包括利益　29年3月期第2四半期　1,153百万円　(0.1%)　28年3月期第2四半期　1,153百万円　(19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	127.00	—
28年3月期第2四半期	157.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	45,648	28,097	54.8	3,167.53
28年3月期	46,555	26,928	49.8	2,973.35

（参考）自己資本　29年3月期第2四半期　25,025百万円　28年3月期　23,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	10.00			
29年3月期（予想）			—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想（平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	△6.6	3,000	65.1	3,100	9.3	2,000	4.5	256.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	8,867,000 株	28年3月期	8,867,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	966,536 株	28年3月期	1,065,536 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	7,836,798 株	28年3月期2Q	7,318,419 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結決算財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間における世界経済は、中国などの新興国の景気不振と、それに伴う資源安の状況にありました。わが国経済は、個人消費が伸び悩み、景気は停滞局面にありました。また、為替相場が円高に推移したため、当社グループの主要原材料である銅の相場価格は、下落しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、依然として、銅相場が低い水準で推移しているため、売上高は316億58百万円（前年同四半期比10.8％減少）となりました。営業利益は13億円（同33.3％増加）となりました。経常利益は、原料相場のリスクヘッジのためのデリバティブ評価益が前年同四半期連結累計期間では４億45百万円であったのに対し、当第２四半期連結累計期間では１億57百万円となったため、15億78百万円（同7.1％減少）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は９億95百万円（同13.6％減少）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①伸銅

伸銅事業では、販売量は５万2,169トン（前年同四半期比9.4％増加）となりました。売上高は262億66百万円（同12.4％減少）となり、セグメント損益は11億28百万円（同56.8％増加）のセグメント利益となりました。

②精密部品

精密部品事業では、売上高は18億13百万円（前年同四半期比2.2％減少）となり、セグメント損益は銅相場下落による原料相場差損が発生したため、51百万円（前年同四半期はセグメント利益43百万円）のセグメント損失となりました。

③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は35億78百万円（前年同四半期比2.4％減少）となり、セグメント損益は１億37百万円（同0.2％増加）のセグメント利益となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は292億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億87百万円減少しました。これは主に仕掛品が３億21百万円増加したものの、現金及び預金が10億14百万円、受取手形及び売掛金が７億６百万円減少したことによるものであります。固定資産は164億９百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億79百万円増加しました。この結果、資産合計は456億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億７百万円減少しました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は152億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億78百万円減少しました。これは主に短期借入金が15億30百万円減少したことと、未払金、未払費用、未払法人税等が合計で７億24百万円減少したことによるものであります。固定負債は23億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億２百万円増加しました。これは主に長期借入金４億81百万円の増加によるものであります。この結果、負債合計は175億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億76百万円減少しました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は280億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億68百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が９億95百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は54.8％（前連結会計年度末は49.8％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年５月11日の「平成28年3月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を第１四半期連結会計期間から適用し、平成28年４月１日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成28年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,917	903
受取手形及び売掛金	17,222	16,515
商品及び製品	3,765	3,775
仕掛品	3,604	3,925
原材料及び貯蔵品	3,227	3,287
繰延税金資産	465	476
その他	190	419
貸倒引当金	△68	△64
流動資産合計	30,326	29,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,570	9,977
減価償却累計額	△4,119	△4,299
建物及び構築物（純額）	5,450	5,677
機械装置及び運搬具	18,785	19,412
減価償却累計額	△16,480	△16,906
機械装置及び運搬具（純額）	2,304	2,505
土地	6,476	6,493
建設仮勘定	241	56
その他	1,426	1,473
減価償却累計額	△1,133	△1,189
その他（純額）	292	283
有形固定資産合計	14,766	15,017
無形固定資産		
その他	15	15
無形固定資産合計	15	15
投資その他の資産		
投資有価証券	1,325	1,260
退職給付に係る資産	43	43
その他	372	274
貸倒引当金	△293	△202
投資その他の資産合計	1,447	1,376
固定資産合計	16,229	16,409
資産合計	46,555	45,648

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成28年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,030	5,089
短期借入金	8,720	7,190
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払金	430	217
未払費用	853	591
未払法人税等	809	559
賞与引当金	768	807
設備関係支払手形	534	403
その他	457	165
流動負債合計	17,803	15,225
固定負債		
長期借入金	150	631
繰延税金負債	403	399
再評価に係る繰延税金負債	280	280
引当金	105	48
退職給付に係る負債	831	861
その他	52	103
固定負債合計	1,823	2,325
負債合計	19,627	17,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	3,168	4,340
利益剰余金	17,548	18,497
自己株式	△694	△988
株主資本合計	22,779	24,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	△60
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△27	△36
退職給付に係る調整累計額	△97	△48
その他の包括利益累計額合計	417	419
非支配株主持分	3,732	3,072
純資産合計	26,928	28,097
負債純資産合計	46,555	45,648

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
売上高	35,503	31,658
売上原価	32,675	28,357
売上総利益	2,828	3,301
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	465	500
給料及び手当	502	506
退職給付費用	13	21
その他	871	972
販売費及び一般管理費合計	1,853	2,001
営業利益	975	1,300
営業外収益		
受取利息	6	0
受取配当金	16	28
デリバティブ評価益	445	157
その他	320	185
営業外収益合計	789	371
営業外費用		
支払利息	21	13
為替差損	－	41
クレーム補償費	17	12
その他	26	25
営業外費用合計	64	93
経常利益	1,699	1,578
特別利益		
固定資産売却益	8	1
投資有価証券売却益	161	－
補助金収入	66	96
その他	－	3
特別利益合計	236	101
特別損失		
固定資産除却損	12	1
投資有価証券売却損	1	－
ゴルフ会員権評価損	－	1
損害賠償金	7	－
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益	1,915	1,676
法人税等	604	517
四半期純利益	1,310	1,158
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	163
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,152	995

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
四半期純利益	1,310	1,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△183	△44
繰延ヘッジ損益	0	－
為替換算調整勘定	1	△9
退職給付に係る調整額	24	48
その他の包括利益合計	△157	△5
四半期包括利益	1,153	1,153
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,052	997
非支配株主に係る四半期包括利益	100	156

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,915	1,676
減価償却費	822	760
有形固定資産除却損	12	1
有形固定資産売却損益（△は益）	△8	△1
投資有価証券売却損益（△は益）	△160	－
ゴルフ会員権評価損	－	1
為替差損益（△は益）	－	41
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△110	△95
賞与引当金の増減額（△は減少）	30	39
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3	△58
環境安全対策引当金増減額（△は減少）	△50	1
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	11	－
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	30	79
受取利息及び受取配当金	△22	△28
支払利息	21	13
損害賠償金	7	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,984	636
たな卸資産の増減額（△は増加）	689	△424
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△36	△7
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,146	△98
未払消費税等の増減額（△は減少）	△49	△274
デリバティブ評価損益（△は益）	△445	△152
その他の流動負債の増減額（△は減少）	41	△155
その他	79	151
小計	2,619	2,106
利息及び配当金の受取額	22	28
利息の支払額	△21	△13
損害賠償金の支払額	△7	－
法人税等の支払額	△299	△773
法人税等の還付額	202	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,516	1,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△776	△1,304
有形固定資産の売却による収入	34	1
無形固定資産の取得による支出	△3	△0
投資有価証券の取得による支出	△98	△4
投資有価証券の売却による収入	12	－
貸付けによる支出	△13	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△845	△1,328

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,220	△1,530
長期借入れによる収入	－	780
長期借入金の返済による支出	△176	△298
自己株式の処分による収入	1,046	1,154
自己株式の取得による支出	△0	△1,052
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△33
配当金の支払額	△48	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,398	△1,026
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	273	△1,014
現金及び現金同等物の期首残高	1,292	1,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,565	903

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成27年４月１日 至平成27年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	29,984	1,854	3,664	35,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,756	30	0	1,787
計	31,741	1,884	3,665	37,291
セグメント利益	719	43	136	899

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	899
セグメント間取引消去	181
全社費用	△106
四半期連結損益計算書の営業利益	975

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成28年４月１日 至平成28年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	26,266	1,813	3,578	31,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,691	28	0	1,720
計	27,957	1,842	3,578	33,379
セグメント利益又は損失（△）	1,128	△51	137	1,213

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,213
セグメント間取引消去	296
全社費用	△209
四半期連結損益計算書の営業利益	1,300

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

（会計方針の変更）に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を第１四半期連結会計期間から適用し、平成28年４月１日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。